

第262号（2022年5月号） / 2022年5月1日発行

市民のための公民館・図書館を！

「ちょっと待って図書館移転」署名 4085筆に！追加分提出（4/6）

<署名>

「ちょっと待って図書館移転連絡会」では4月6日、第4次分の署名466筆（累計4085筆）を市長に提出しました。前回提出した要望書で懇談を求めているのに返答がないことについてただしましたが、秘書課の対応は「担当部署とやっているのではないのか」などと曖昧な内容だったので、改めて面会を求め、きちんと回答するよう申し入れましたが、4月24日現在回答はありません。

署名はその後にも寄せられ、4月24日現在で累計4,144筆になっています。同じマンションの方たちに声をかけ署名を集めてくださった方々と現状についてお話する機会が持てました。泉龍寺のポストにメッセージを寄せてくれた方もいます。みなさんと情報を共有する機会として学習会を企画します。

一方、まだまだ市の基本方針、その進め方について知らない方々も大勢います。定期的な宣伝、多様な場所での宣伝も取り組んでいきたいと考えています。新しいチラシのポストインも考えていますので、お力添えをお願いします。

署名用紙はこれまでと同じものです。すでにお済みの方は、周りに広げてください。

<ワークショップの動き>

市民センター改修グループと新図書館を考えるグループの合同ワークショップが4月10日（日）に開かれ、30人弱が参加しました。

本誌前号で掲載したワークショップの進め方に対する要望書が参加者に配られなかったことに対し、抗議と要請文を出しましたが、何ら反映されていません。

4月10日の合同ワークショップでは、全体説明の後の質疑で、様々な質問、意見が出されました。

- ・図書コーナーの議論先行はおかしい。新図書館がどんなものか、市民の要求に応えられるものになるのかの検討が先ではないか

- ・ワークショップの回数は増えても積み重ねがなく、基本方針に沿った意見だけ恣意的に利用（市民協働のアリバイづくり）されている

- ・前回ワークショップで出された増床の可能性についての質問に回答がない。費用がかかるとはいっても具体的に示さない、不誠実。

これに対して市は「増床は基本方針にない」と言い切りましたが、基本方針では触れておらず、増床しないとも書いていません。

- ・進め方、前提確認についてなどの意見が、多くの参加者から出されました。「図書コーナーの根拠」を明らかにできない市は、おもわず、駄倉新図書館が狭いからと本音を漏らす一幕も。

最後は“時間がない、早くワークショップを始めたい。各グループに担当者がつくので聞いて欲しい”という、いつものやり方で押し切りました。

以下は、グループワークで出された意見、参加者の感想です。

- ・進行方法は相変わらずポストイット優先、議論が深まらない。グループワークのみをワークショップとみなしている。
- ・今回の資料に関係団体ヒアリングが載っているが、活かしているか疑問。
- ・NCMの横増築案はコストは同規模なのに、なぜ駄倉新築案になったのか。基本方針の決まった経緯・選んだ理由を知りたい。
- ・全体での質問への共感がある一方、電子書籍充実(蔵書減少可)や小さくてよい等の意見もある。
- ・資料はwebアンケートのみで、2020年3月実施の市民アンケートは取り上げない。webアンケートも図書館充実を求める要望が現状維持の4倍あったことを載せないなど、情報の提供も恣意的。
- ・図書館は分割せず、現在地で充実を。
- ・図書コーナーについて、3回目の図書館WSでは各班図書以外のサービスを挙げたが、活かされていない。そのことについての発言もなかった。
- ・こどもの本をという声があるが、児童サービスには職員配置は必須なのに、基本が議論されない。
- ・子どもが騒げる図書コーナーとし、新館は落着い

た雰囲気演出するが、新館でも階を分ければ可能。

・電子書籍と紙の書籍は両方必要。図書館まで来れない人や障害を持つ人にとっては電子書籍は便利。

・まとめでは、「**新図書館が決まっていなのに図書コーナーは議論できない**」と発表したグループもありました。これらの意見交換から図書コーナーの面積や役割が議論されたとは思われません。

今後のワークショップの予定は、5月15日、6月12日の2回で、市民センター改修はブロックプラン、市民センター改修基本構想(案)、図書館は新図書館整備基本構想(案)を話し合う予定が組まれています。

ワークショップでは、いくら意見を出しても基本方針から少しでも外れるものは無視されてしまいます。さらに幅広く市民に知らせて、おかしいものはおかしい、駄倉移転には反対という方向で運動を進めていくことが重要です。

「かわら版」に書かれないこと

ワークショップのまとめとして市が作成、配布している「かわら版」は基本方針に沿ったもののみを採用し、平面的に取り上げるので、まとめのポイントが見えないなど、毎号不適切な記述があり、参加者から訂正の要求が出されていますが、第3号についても指摘と抗議が出されています。

2022年4月4日

富田政策室長・浅井公民館長宛

市民センター改修かわら版3号「訂正」について

参加者 西尾真人

私が3月22日付けで提出した「市民センター改修かわら版3号についての意見」に基づき、今回の訂正をされたものと考えます。結果は訂正しないよりはマシですが、趣旨は全く生かされていません。

私の指摘は3点、①前回、意見表明された「新市民センターに求めること」をかわら版に記述すること ②前書に「前回までの議論内容をもとに、その内容を具体的に実現させるため、それぞれの部屋やスペースに必要となる設備や機能について話し合

っていただきました。」とあるのは、ワークショップを取り繕い、飾ろうとする作り話であること

③市の方針がどうあれ、参加者から出されている意見は「基本方針」に沿わなくても書かれる必要があること、です。その上で、何度も指摘されていながら一向に改善されない運営について、④関係者の真剣な総括が必要であることを指摘しました。

市の回答は上記②のみ訂正で、他は口をつぐんでいます。

市民活動支援センターに関して、第3回のグループ「まとめ」発言で二重投資との指摘があったことや市民センターに「本当に必要なのか」と疑問が出されたことを指摘し、併せて私がグループ「まとめ」として発言した「駄倉新図書館は考え直した方がよい」との指摘には一言も触れられていません。これ

は「基本方針」には疑問や問題指摘さえ許さないという市の固執振りをいかに表明したものと思います。

市も認めているように、ワークショップは議論がされず、内容は1回1回バラバラで積み重なっていきません。ただ単に個人の「ご意見を伺う」だけで良いとする現状は、どのような市民センターを求めのか考え方のバラバラなまま不統一な形だけが先行しているものです。市にとっては内容のない形式的な「基本方針」を押し通すには都合が良いかもしれませんが、これでは市民の期待に応えることはできません。

私が提起したのは、これまでの個人意見の羅列で“良し”とする運営を改め、市民の期待に応えるにはどうするのか真剣な総括を求めたものですが、期待外れでした。

折角の問題提起を袖にし、市民に積極的な説明ができないまま「基本方針」に固執し、「基本方針」に疑問すら許さず、ワークショップを参加者個人のご意見頂戴に貶める、市とその関係部署・関係者に強く抗議します。

市民が求める市民センターを創ろうとするなら、形だけ「市民の声を聞きました」とする現行ワークショップの再検討が必要だと考えます。

ちょっと待って図書館移転 報告 & 学習会

5月28日(土) 14時~16時

中央公民館 講座室

市民センター改修・新図書館構想の現状は？駄倉に“残念な図書館”を作ってしまった方がいいか一緒に考えましょう。

講師依頼中、詳細は後日お知らせします。

「ちょっと待って図書館
移転連絡会」より

* 連絡会ニュースにみなさんの投稿をお願いします。
700字まで。ひと言でも結構です。

mshuto2612@gmail.com

または

Fax: 03-3480-8711 (周東)



社保協の2022年度予算共同要求に回答

こまえ社会保障推進協議会では、毎年6月頃に次年度の市の予算に反映してほしい項目を、参加団体が持ち寄り、市に提出しています。例年は8月頃に各要望項目について、私たちの要求の根拠や切実さを伝え、市側からも現状や見通しを出し、市の課長クラスの担当者と意見交換が行われてきました。しかし、昨年はコロナ禍のもと、急な総選挙などもあり、懇談を持つことができませんでした。2022年度予算が議会を通ったところで、回答書が送られてきました。

新婦人狛江支部では、◇コロナ感染の緊急事態宣言時でも、感染防止策を徹底した上で公民館・地域センター等公共施設の使用の許可◇災害時の安全な避難所の確保、情報伝達の改善など防災対策の充実。文字表示付き防災ラジオの貸与。◇子どもが遊ぶえきまえ広場前の喫煙所の廃止、トイレを作ってください。えきまえ広場に日陰を。◇こまバスの増便と双方向運行・路線増◇安価で、年金生活者でも安心して入れる特養ホームを公設で。◇加齢難聴者補聴器購入に対する補助制度の新設と、国への保険適用の働きかけ。◇小中学校の女子トイレに生理用品の常備◇保育園・学童保育の待機児解消のための施策◇小中学校の20人学級が実現するよう都・国への働きかけ◇子どもの状態に合わせて学習できる多様な授業に取り組めるよう、教師の増員、設備の整備等 を要求として出してきましたが、前向きな回答は得られませんでした。生理用品の常備は方々の自治体で実施されており、狛江市でも認識を改めて早期に実施して欲しい項目です。補聴器の補助は、使いこなすまでのサポートも重要です。補助金と併せて要求を続けていきます。(新婦人狛江支部 周東)

「市民と野党の共闘」のこれからと 参院選勝利のために

第 11 回ちょこみなトークライブ オンライン含め 85 人参加(4/7)

調布・狛江・三鷹・稲城の市民連合「ちょこみな@東京 22 区」は 4 月 7 日（木）、グリーン小ホールで「第 11 回トークライブ」を開催し、リアル 70 人、オンライン 15 人の参加で「市民と野党の共闘」のこれからについて考えました。

稲城の山岸太一さんの司会で 18:30 開会。開会あいさつは調布の鈴木彰さんが①市民連合「ちょこみな」発足から 5 年間の模索を振り返り、②去年の総選挙は 62 小選挙区で野党共闘が勝利し、自民の 15 議席減までいったのに、③保守反動勢力の決死の反撃によって改憲勢力が 3 分の 2 の議席を奪う事態になったこと、④その結果いま、コロナ禍・戦禍・これに便乗して軍拡・核共有・改憲に向かって暴走する「3つの災い」が現れていること、⑤今日のトークライブで、これまでの到達点を確信し、災いを乗り越える確かな道を探り当てよう、と訴えました。

＜第1部 講演会 総選挙の結果を踏まえて＞

市民連合の高田健さんが「『市民と野党の共闘』とこれから」と題して講演。去る総選挙で政権交代という最大限目標も、改憲勢力の議席を 3 分の 2 以下にするという最小限目標も果たせなかったことを「野党共闘に問題があったのではなく、共闘を徹底できなかったことが要因。多くの有権者に分かりやすく政策を伝えられるかが重要」と強調しました。

あいさつを予定していた山花郁夫前衆院議員がコロナ感染問題で参加できず、メッセージが寄せられました。

参加者からは、投票率をどう上げるかを重点的に考える必要があるのではないか、共産党と共闘に対する攻撃に対して、共闘してこういう政治をつくるということをもっと示すべきではないか、などの意見が出され、高田さんからこれへの感想も述べられました。

＜第2部 政党代表のクロストーク＞

総選挙で「市民と野党の共闘」に参画した 4 野党に呼びかけましたが、参加は山添拓日本共産党参議院議員、松尾あきひろ立憲民主党参議院総支部長、服部良一社会民主党幹事長の 3 人。

山添氏は「参院選は軍拡による戦争か、憲法 9 条の平和外交を進めるかの歴史的岐路。野党共闘の魅力が有権者に伝わるよう全力を尽くしたい」、松尾氏は「衆院選で野党共闘に対する自公の恐怖心を強く感じた。市民と意見を出し合って、よりよい共闘の形をつくりたい」、服部氏は「参院選は憲法と日本の政治の大きな分かれ道。野党共闘の実現にみなさんと知恵を絞りたい」と語りました。

参加者から「生活に困窮している人に届く政策を」「SNSを活用し若い人への訴えを強めてほしい」などの発言がありました。



ウクライナに平和を！ STOP WAR!

ロシアはウクライナ侵略をやめろ 駅前リレートーク&市民デモ(4/9)

2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵略に抗議するため、戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会は4月9日(土)、定例の「九の日」行動を切り替え、午後2時15分から狛江駅で6団体がリレートーク、15時から和泉児童遊園を起点に約60人がデモ行進して「ロシアは侵略をやめろ」「国連憲章を守れ」「子どもたちを守れ」「日本の平和憲法を守ろう」と市民に訴えました。集会、デモ合わせて約100人の参加となりました。

コロナ禍のもと、マスク着用でのデモは初めてでしたが、通行人の目を引き、スマホで撮影している若い人もいました。「子どもさんが途中から参加し、最後まで歩いてくれ、別れる時にきちんと挨拶をして行ったので感心した。」「今回は商業新聞にチラシを入れなかったのが残念だった。」「ウクライナに平和は来ていないので、近々第2回をやりたい」などの声が寄せられました。



改憲発議許さない！

守ろう平和といのちとくらし

2022 憲法大集会

祝
施行75年！

とき

2022.5.3

開園11:00～ パレード開始14:30～

会場

有明防災公園

東京臨海広域防災公園

主催 平和といのちと人権を！5.3憲法集会実行委員会
共催 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲NO！全国市民アクション／戦争をさせない1000人委員会／憲法9条を壊すな！実行委員会／戦争する国づくりストップ！憲法をまもり・いさず共同センター／九条の会

狛江駅 11:15集合 みんなで行きましょう。現地で合流される方は「戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会」「豊かな狛江」「平和憲法を広める狛江連絡会」の旗を探してください。

5月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。

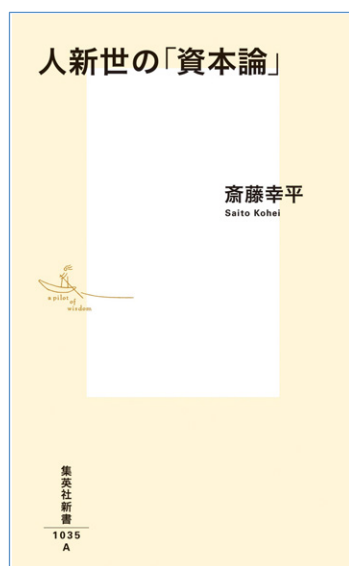
※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、320部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(日) 13時～15時	有明臨海公園	5.3 憲法大集会 11:15 狛江駅集合	戦争なんてイヤだ！こまえ市民実行委員会・平和憲法を広める狛江連絡会
7日(土) 13時30分 ～16時	泉の森会館 ホール	第35回狛江母親大会 「ウクライナ危機と日本 今こそ憲法9条守ろう！」 講師：伊藤千尋さん	第35回狛江母親大会実行委員会
9日(月) 17時30分 ～18時30分	狛江駅前	9の日行動 ＝駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
11日(水) 15時～16時	狛江駅前	フラワーデモ 性暴力に抗議するスタンディング	新婦人狛江支部の会員の呼びかけで行っています。お花を持って参加を！
13日(金) 10時30分 ～11時30分	みんなの広場	『豊かな狛江』6月号編集会議	アイディアをお寄せください。
18日(水) 10時～12時	東京土建狛江支部会館会議室	こまえ社保協 事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
23日(月) 14時～16時頃	みんなの広場	拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
24日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』 6月号の製本・仕分け作業	ぜひ！手伝いにきてください。
25日(水) 10時～12時	東京土建狛江支部会館会議室	戦争なんてイヤだ！狛江市民 実行委員会相談会	
25日(水) 17時30分 ～18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》 の署名行動	民主商工会や東京土建・狛江支部などが中心に第4水曜日の行動です。
27日(金) 10時～12時	中央公民館・ 第4会議室	《平和憲法を広める狛江連絡 会》《こまえ九条の会》合同 世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
28日(土) 14時00分 ～16時00分	中央公民館 講座室	報告＆学習集会	ちょっと待って図書館移転連絡会
30日(月) 15時30分～	東京高等裁判 所 809号法廷	「狛江市職員雇止め・パワハラ訴訟」東京高裁第1回弁論	傍聴も力です。参加しましょう。

※コロナ感染状況によっては中止になる場合もあります。

『人新世の「資本論」』 斎藤幸平著（集英社） 紹介

和泉本町1丁目 在住 須貝光典



書名の中の『人新世（ひとしんせい）』とは、歴史を地質学的に見て、資本主義が生み出した人工物、つまり負荷や矛盾が地球を覆った時代のことで、人間たちの活動の痕跡が地球の表面を覆いつくした年代を指す言葉。本書は“SDGsは「大衆のアヘンである！」”

で始まるが、その理由は、「温暖化対策をしていると思ひ込むことで、真に必要とされている、もっと大胆なアクションを起こさなくなってしまう」、からであり、「良心の呵責から逃れ、現実の危機から目を背けることを許す『免罪符』として機能する消費行動は、資本の側が環境的配慮を装って、私たちに欺くグリーン・ウォッシュにいと簡単に取り込まれてしまう。」からだ。これは読者の意表を突くと同時に、そのあとに、何が書かれているのか興味を持たせる出だしだ。

著者は1970年から出版が始まった新MEGA（カール・マルクスとフリードリヒ・エンゲルスの出版物、遺稿、草稿、書簡の全集）を研究して、マルクスが、『資本論』第1巻刊行後に大きな思想転換をしたこと、そして、従来知られていたような、単線的な「進歩史観」や「生産力至上主義」、「ヨーロッパ中心主義」ではない、「まったく新しいマルクス」を提示する。その中で、資本主義のかかえている問題（「帝国主義的生活様式」：北半球による南半球の搾取）と、その結果である気候危機を指摘し、その解決方法として提案されている、気候ケインズ主義、グリーン・ニューディール、みどりの経済成長などの「経済成長の罠」・「生産性の罠」等を「私たちに欺くグリーン・ウォッシュ」として批判する。

著者は、気候危機を止めるためには、資本主義は「脱成長」を目指すべきだと考えており、「資本主義を超える社会」として『〈コモン〉という第三の道』を提唱する。〈コモン〉はアメリカ型新自由主義とソ連型国有化の両方に対峙する「第三の道」を切り拓く鍵で、市場原理主義のように、あらゆるものを商品化するのでもなく、かといって、ソ連型社会主義のように、あらゆるものの国有化を目指すものでもない社会だ。著者の言う〈コモン〉または〈コモンズ〉は、故宇沢弘文氏が提唱した[社会的共通資本]＋「住民の自治」を持つ社会のこと。

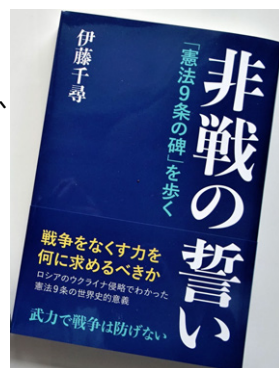
著者は「第三の道」の試みを、ヨーロッパやアメリカの市民運動（ミュニシパリズム）や国際的な「フィアレス・シティ」を紹介する中で具体的に描いている。この本によって、著者は、『資本論』第1巻刊行後、資本主義の「本源的蓄積」によって壊されてしまった〈コモンズ〉を研究したマルクスを現代に生かすことができると信じ、読者に『〈コモン〉という第三の道』を推し進めるための運動への参加を呼びかけている。

伊藤千尋さんの新しい本

『非戦の誓い～「憲法9条の碑」を歩く』

あけび書房 税込1980円

国内23か所の憲法9条の記念碑を訪ねてまわり、建立した人々にその思いをうかがったルポです。憲法の観点から見る日本列島探訪記のような作品に仕上がりました。



梅木勝子さん、長い間ありがとう

新日本婦人の会粕江支部の事務局長・副支部長として「豊かな粕江をつくる市民の会」の世話人を20年余にわたって担ってくださった梅木勝子さんが4月6日逝去されました。享年78歳でした。

豊かな会では世話人会の出席はもちろん、「豊かな粕江」の製本にも欠かさず参加、ある時はたった2人だったこともあったそうです。市長選挙の時は、いつも選挙事務所で影の力となって働く梅木さんの姿がありました。

葬儀は4月14日、15日に多磨葬祭場で執り行われ、雨の中、多くの友人知人がお別れに駆けつけました。大好きな花に囲まれ、素敵なお顔の写真でした。豊かな会の2人の共同代表増田善信さん、矢野裕さんが弔辞を捧げ、皆で献花をしてお別れしました。本当に長い間ありがとうございました。安らかに眠りください。

周東三和子



粕江の自然



コサギの群れ

シラサギは白いものに引きつけられるという性質があります。仲間が水辺や田んぼにいと、そこに集まってくるのです。

たくさんのサギが川を歩くと、驚いて飛び出してくるカエルや魚などの数も多くなるので、エサが獲りやすくなります。

上の写真は、漁を終えて次の場所へ移動するコサギ（シラサギの一種）の群れ（粕江の多摩川上空にて）。

高橋 廉（岩戸在住）